

### 1、あなたの政策について

本市の自然環境や歴史遺産など、別々に存在していた「福津らしさ」と「素晴らしさ」をつなぎ合わせることで、より魅力が増すような観光を目指し、これまでの政策を進めてまいりました。

「里山を保全することが漁業環境を向上させる」などの『循環』に関する一連の取り組みに、九大様・九工大様・水産高校様・イオン九州様などのご協力を賜ってきたこと、健康により適塩の商品開発に福岡女子大様にご協力を賜ったことなど、これまでに培った産学官連携の実績をさらに次のチャレンジにつなげてまいります。

また、これまで目指してきた潮湯の誘致や東福間への生活利便施設の誘致、消防学校跡地の市民の安全性に寄与する活用などの目標には目途が立ちましたので、次は、私が目指している「自然環境の循環と経済の活性化をリンクさせる」という趣旨にご賛同くださる企業様の誘致を実現していきたいと考えています。また、多様な形態の宿泊施設の誘致も今後も丁寧に進めてまいりたいと考えています。これらに注力する理由は、福津市経済の発展が、より確実な行政サービスを支えるものとなるからです。

### 2、小中学校の大規模校、過大規模校への対策についてどのようにお考えでしょうか。

まずは、福間中学校への対策でもある福間小学校の分離を、宮司地域全体にとって現在よりも安全性が向上する形で進めてまいります。南小に関しては、学校と密にご相談させていただきながら、今後も効果的な方策につながる可能性のあるアイデアのご提案は取り入れてまいります。

### 3、教育長人事について

私は、教育環境とは、専門性が高く、現場への理解が不可欠であると考えます。そのため、机上の理論ではなく、現在過大規模校である「福間南小学校と福間小学校の状況を熟知した方が環境改善あたること」が、現場に寄り添う上で有効であると考え、各校の校長経験がある方の中からこれまでに2人を指名し、議会に上程してまいりました。福津市の教育行政の状況から判断すれば、「**教育長職に空白期間を置かないこと**」が何をおいても**重要な時期にあることは、誰の目から見ても明らかであるにも関わらず、1度ならず2度までも、「議会の判断」によって、教育長不在の状況となっていること**について、①議会は、自分たちの判断が福津市の教育行政に与える責任の大きさと重さを本当に理解できているのか、②議会のこれらの判断は、福津市の教育環境を本市の子どもたちのために少しでも改善させるために何ができるか、ということを真剣に考え抜いたものと言えるのか、③真剣に考えていると言うのであれば、市議として実際にどのような行動や貢献を行ってきたのか、という考えで

おります。

加えて、これまで本市の教育に多大な貢献をされた教育者の方々への敬意から、判断基準が不明瞭な議会に次の方を指名することによって、その経歴を傷つけることには慎重にならざるを得ないと考えています。

#### 4、分別ごみの収集方法について

宮司地域で行われているような仕組みの成功例を郷づくり等と話し合い、必要な地域で導入していけないか、その方策について、地域とともに知恵を出し合って考えていく必要があると思います。

#### 5、給食費無償化・オーガニック給食について

現在、給食の材料費が高騰しており、それによる給食費の値上げをさせないため、臨時議会に補正予算を約7千万円計上したところです。給食費の無償化につきましては、本市の規模では約5億円の財源が必要となる見込みです。近隣自治体とも情報交換を密にし、連携しながら検討を進めてまいらなければならないと考えています。オーガニック給食については、地元の食材を取り入れることを中心に本市の食育を進めておりますので、本市の認定農業者様等とも意見交換を行い、可能な限り取り入れてまいりたい意向でございます。